

GPSナビキャスタ(重量計付)



紹介動画は
こちら

これから かたち 散布機

次世代の散布 ～より精密な肥料散布へ～



👍 **GPSナビキャスタシリーズに
重量計付きタイプが登場!!**

重量計測を用いた
「自動補正」機能で
散布量が安定します。



ナビゲータに重量(kg)が表示されます。



MGL1204P

本製品は、内閣府戦略的イノベーション
創造プログラム(SIP)「次世代農林水産
業創造技術」によって実施されました。
GPSナビキャスタ MGLシリーズには、
農研機構との共同研究成果の一部を利用
しています。

肥料が一定量以下になるとアラームでお知らせ



■仕様表

散布方式	型式	ホッパ規格		機体寸法 mm			重量 kg	装着方式	駆動方式	適応トラクタ kW(PS)	性能			
		容量 ℓ	最大積載重量 kg	全長	全幅	全高					作業速度 km/時	散布幅 m	毎時能力 a/時	散布量 kg/10a
スハウト	MGL604P	600	1200	1600	1900	1050	285	直装 I・II兼用	PTO 駆動 450~500rpm	33~59 (45~80)	4~10	粒状 7~12	粒状 170~720	粒状 5~180
	MGL1204P	1200		1650	1950	1350	300			51.5~88 (70~120)		砂状 5~7	砂状 120~420	砂状 10~620

※散布幅は肥料の性状により変わります。※全高寸法及び重量はスタンドを含んでいません。
 ※砂状肥料など[]内の設定を下回る場合、散布量の自動補正が正しく機能しない場合があります。
 【作業速度6km/時、散布幅5.5m、散布量40kg/10a】
 ※本カタログ記載の数値は、実測値またはそれに基づいて計算された値を一般的な代表数値として示したものであり、使用条件などにより異なる場合があります。
 ご検討の際の目安の数値としてご使用下さい。
 ◆農耕トラクタとのマッチングに限り公道走行に対応しています。
 ◆公道走行に関する詳細は日本農業機械工業会の公道走行ガイドブックをご確認ください。

注意 鋳物系資材(鋳さい、鉄、粉碎石灰など)の散布は著しい摩耗が発生するため適応しておりません。



部品番号1648671000:GPSセツゾクコードAssy

他社製RTK対応GPSナビゲーション・自動操舵装置と接続し、より精度の高い経路誘導が可能となります。
 また、GPS受信機を複数取り付ける必要がなくなり、装着も簡単になります。
 ※GPS受信機のメーカー、型式により接続できない場合あるいは他社製の変換ケーブルが別途必要になる場合があります。接続に関してはGPS受信機販売会社へお問い合わせください。



オプション部品



部品番号1488550000:肥料流動測定器

肥料20kgを2回に分けて肥料流動測定器を投入し、肥料流動測定値を算出します。自動補正が始まるまでの散布誤差を最小限に抑え散布開始時からより正確な肥料散布が行えます。



⚠ 安全についてのご注意

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご相談・ご意見は下記へご連絡ください。



ホームページは
こちらから



安全はIHIアグリテックの願いです。

株式会社IHIアグリテック
千歳本社

〒066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2
TEL0123(26)1123 FAX0123(26)2412

ホームページアドレス <https://www.ihico.jp/iat/>

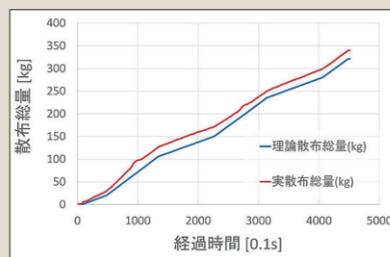
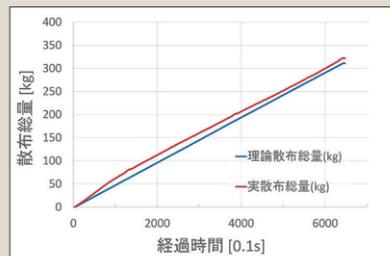
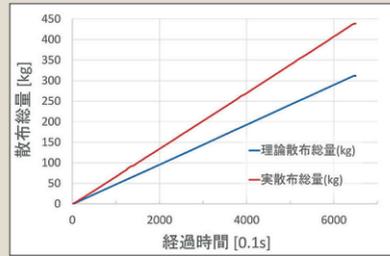
*このカタログの写真・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
2025.7作成 SU6A004A011

ICTが導く新世代の肥料散布機

重量計付のメリット

① 散布量の自動補正

従来の散布方式では散布精度等の影響で設定した散布量（グラフの青線）よりも実際に散布された量（グラフの赤線）の方が多く、散布誤差は増え続ける傾向にあります。



MGLシリーズは重量計で実際に散布された量を計測しているので、散布誤差を自動補正し設定した散布量通りの肥料散布が可能です。また、散布誤差の補正値は次の圃場へ持ち越せます。

② 肥料の積載量を可視化

ナビゲータの画面左下に重量(kg)が表示されるので、肥料がどれくらい残っているのか確認できます。



可変施肥に対応

可変施肥とは…

肥料を散布する時、生育が良い所は少なく、生育が悪く肥料が必要な所は多くする技術のこと。作物が必要とする量を散布することで、肥料代の節約・生育の均一化といったメリットがあります。

今までの施肥は…

ほ場一筆単位でしか散布量を決めることができなかったため、生育のばらつきに合わせた施肥ができませんでした。

可変施肥では…

ほ場の生育のばらつきに合わせた施肥ができるので、生育の均一化と肥料削減ができます。



ほ場の状況に応じた施肥マップを作成

リモートセンシングデータを利用したISO11783-10形式、または空撮画像とGISツール*から作成したKML形式
 *KMLファイルが作成可能なGISツール(2025年6月時点,*印は有償)にはZ-GIS*(JA全農)、ArcGIS Earth(ESRIジャパン)などがあります。

↓ ↓ ↓
USBメモリから、ナビゲータ部へと入力
 ↓ ↓ ↓
マップ情報に沿って、可変施肥を行います

※本製品は、農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」により開発されました。
 ※本製品の可変施肥マップに関する機能には、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「次世代農林水産業創造技術」により開発された技術が使用されています。

ナビゲータには、明るいカラーのモニターが採用されています。



起動画面



直進画面



旋回画面

公道走行対応機材標準装備

灯火器類や反射ラベル、制限標識等を標準装備しています。

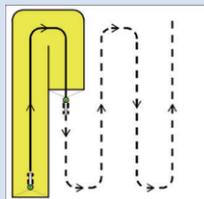


GPS車速連動+経路誘導で簡単作業

「経路誘導ガイドパターン」は2パターン

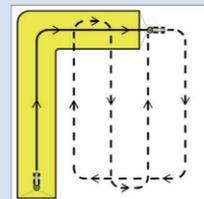
隣接散布パターン

設定した誘導幅へガイドします。



外周&自動均等割散布パターン

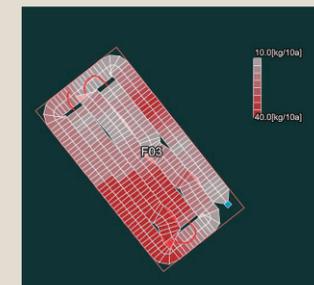
一本目の走行ラインを記憶して、外周散布後に内行程を自動均等割し目標ラインへ誘導します。外周へ差掛かったときやバック走行時は、シャッターが自動で閉まります。



◎肥料がなくなって作業を中断する場合、中断した位置を記憶、再びそこまでの誘導を行う「ブレークリターンシステム」を設けています。

作業記録をUSBメモリに自動保存、作業確認や作業日誌に活用

- 作業履歴と作業ログがUSBメモリに自動保存されます。
- 作業履歴は1日の作業内容を確認できます。
- 作業ログの形式はKMLとCSVから選べます。
- KML形式の作業ログはGISツールを使って確認できます。



作業ログ

E03	
作業日	2021/12/1
開始時刻	14:56
終了時刻	14:59
作業機	計量ブロードキャスタ (スバウト)
ほ場面積	5000m ²
ほ場散布量 (理論値)	124.6kg
積算散布量 (理論値)	107.0kg
積算散布量 (実測値)	84.5kg
誘導間隔	1000cm → 1003cm
散布間隔	1000cm → 1000cm
終了状態	正常終了 (ラストパス通過)